

● AIによる自治体業務総合支援実証事業

(膨大な通達文書・業務マニュアルの高度検索・関連文書紐付検索、事務ミス防止等)

- ・福岡県北九州市 (◎)
- ・株式会社日立製作所
- ・山口県下関市

● 福祉関係情報の集積・AI分析等による市民サービス高度化実証事業

(DV、虐待、孤独死等の潜在要支援対象者の発見・支援)

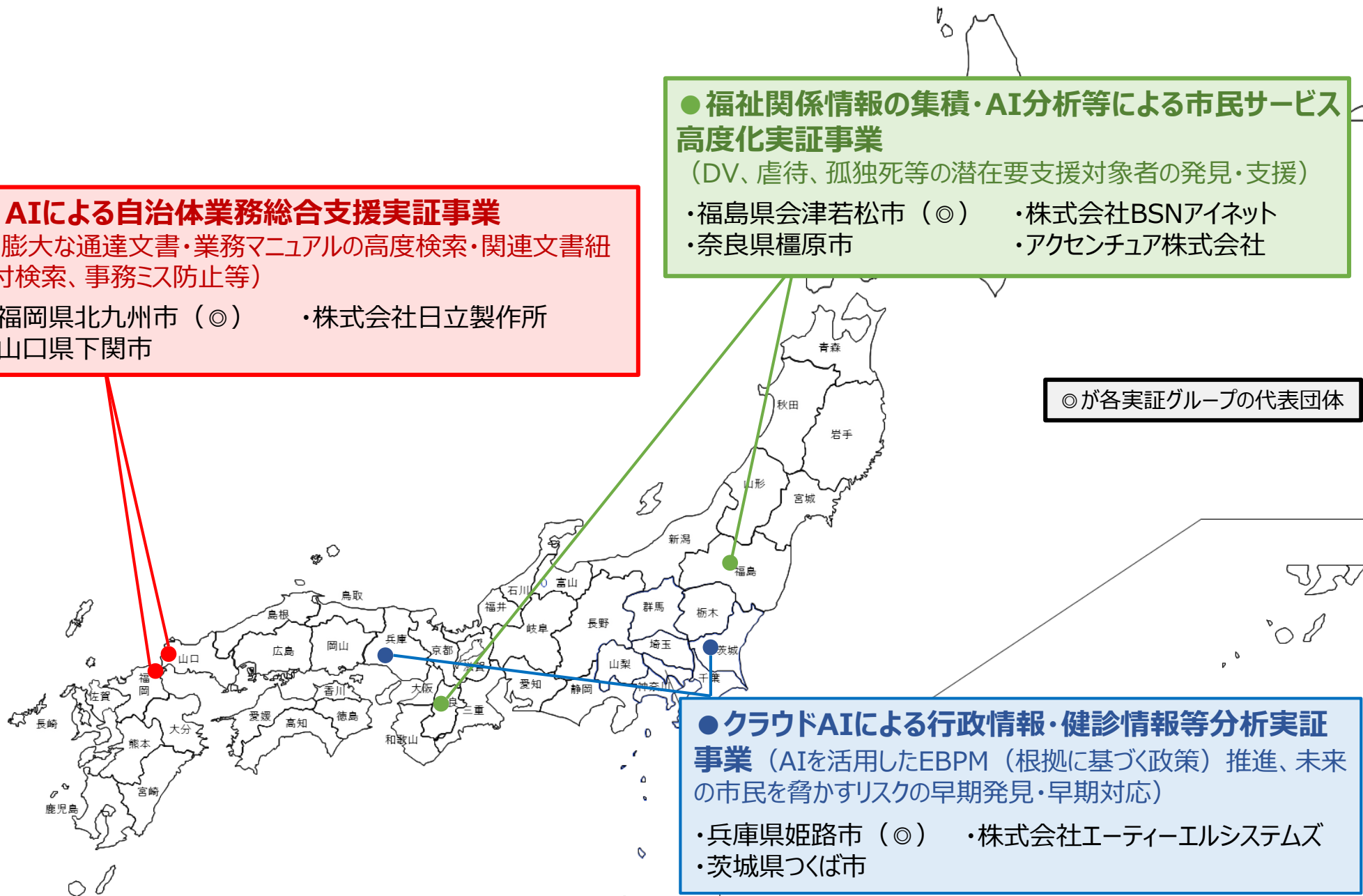
- ・福島県会津若松市 (◎)
- ・株式会社BSNアイネット
- ・奈良県橿原市
- ・アクセンチュア株式会社

◎が各実証グループの代表団体

● クラウドAIによる行政情報・健診情報等分析実証事業

(AIを活用したEBPM (根拠に基づく政策) 推進、未来の市民を脅かすリスクの早期発見・早期対応)

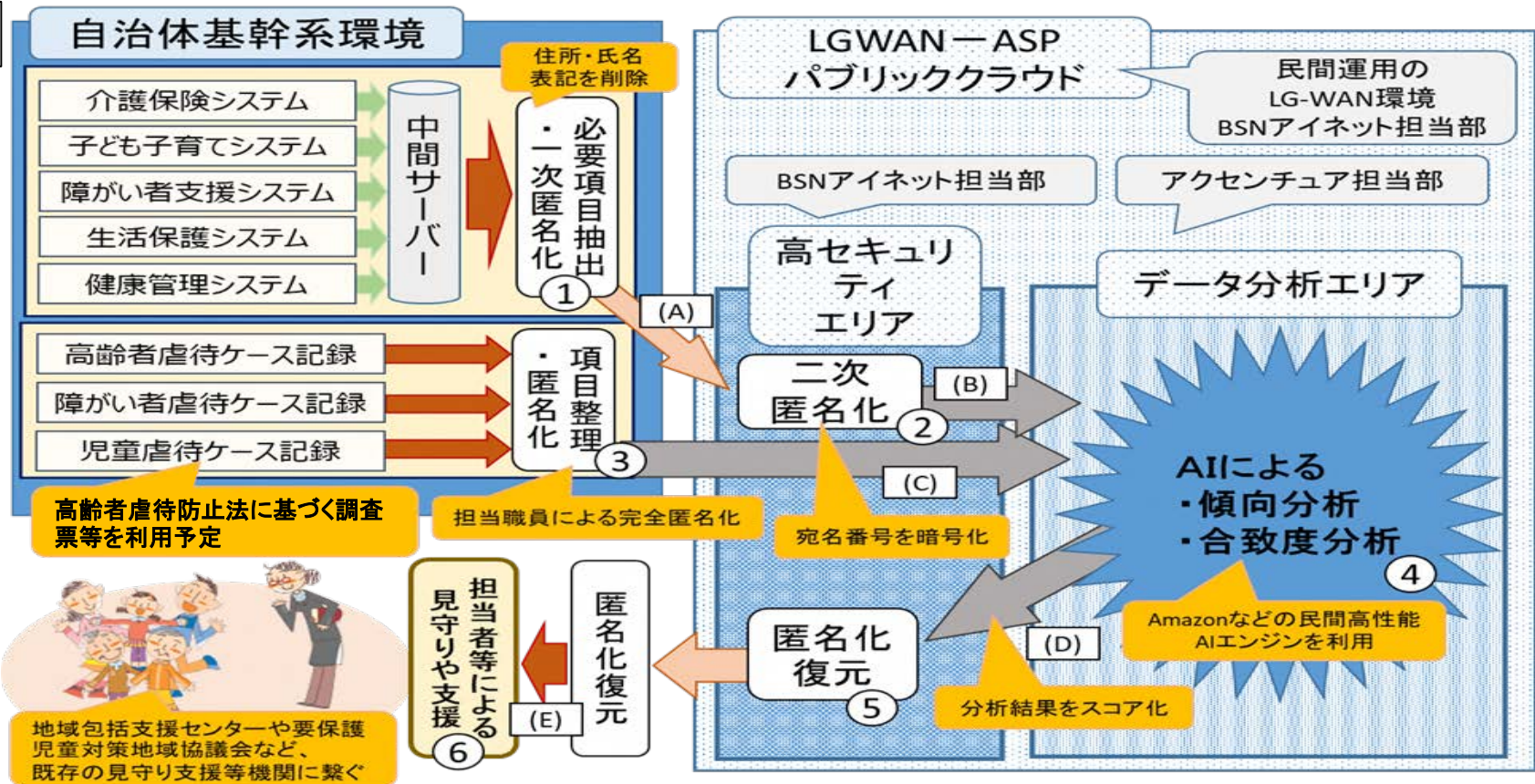
- ・兵庫県姫路市 (◎)
- ・株式会社エーティーエルシステムズ
- ・茨城県つくば市



会津若松市・檀原市「福祉関係情報の集積・AI分析等による市民サービス高度化実証事業」
(DV、虐待、孤独死等の潜在要支援対象者の発見・支援)

提案者※下線が代表団体	会津若松市、檀原市、株式会社BSNアイネット、アクセンチュア株式会社
活用データ	介護保険、子ども子育て、障がい者支援、生活保護、健康管理、等に係る市民データ
事業概要	自治体基幹系システム等が保有する福祉関係情報を匿名化して集積し、AI技術により分析することにより、支援の手が行きとどいていない、潜在する要支援対象者（DV、虐待、孤独死等の可能性のある方）を発見し、見守り等の支援を強化するための仕組みの検証を実施。
期待される効果	福祉関連サービスに係る市民のサービス向上、業務データのクラウド利用におけるシステム要件の検証。将来的に福祉領域以外の分野、他自治体における活用可能性の評価

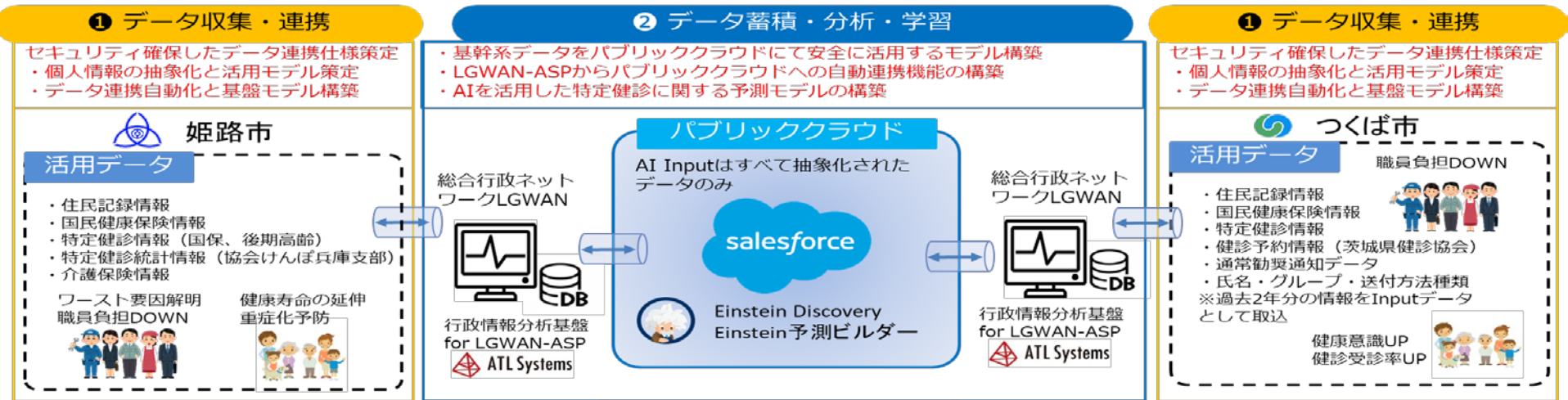
事業概要図



姫路市・つくば市「クラウドAIによる行政情報・健診情報等分析実証事業」

(AIを活用したEBPM推進、未来の市民を脅かすリスクの早期発見・早期対応)

提案者※下線が代表団体	姫路市、つくば市、株式会社エーティーエルシステムズ
活用データ	住民記録、特定健診、国民健康保険、介護保険、外部データ（外部団体）等
事業概要	・姫路市：増幅する医療費の抑制のため、全国ワーストレベルである特定健診結果の原因をAIを活用したビッグデータの分析により究明し、健康寿命の延伸に資するEBPMを推進。 ・つくば市：特定健診受診率が低いため、健診予約状況より市民が最も受診しやすいレコメンドをAIが判断し、受診へ誘導する勧奨通知発送を実施。
期待される効果	AIを活用したリスク分析手法の確立と原因究明の実現、健康増進プラン作成時間削減等の業務効率化、特定検診受診率の向上



北九州市・下関市「AIによる自治体業務総合支援実証事業」

(膨大な通達文書・業務マニュアルの高度検索・関連文書紐付検索、事務ミス防止等)

提案者※下線が代表団体	北九州市、下関市、株式会社日立製作所
活用データ	通達文書・事務連絡通知文書PDFデータ、業務マニュアル・実施手順書等蓄積テキストデータ
事業概要	紙文書と電子文書が混在し複雑化している内部事務の標準化と効率化を図り、職員が本来業務に集中できる事務プロセスに変革することを目的に「AIによる自治体業務総合支援実証事業」を実施。職員にとって事務負荷の高い文書管理作業や会議録書き起こし作業等の軽減と経験不足による事務ミス防止を図るため、行政文書をクラウドDB上に自動登録・全文検索できる仕組みを構築するとともに、クラウドAIサービスの高度検索機能(曖昧検索、紐付検索)、チャットボット機能、音声自動認識等を活用したアプリケーションを新規構築し、自治体職員の事務改善とシステム共同利用化に取り組む。
期待される効果	簿冊式紙フォルダーの削減(約2,912冊)、事務の共通化・効率化(該当処理時間70%削減)、問合せ対応業務の軽減(電話応答業務量60%削減)、会議録作成委託料の削減

事業概要図

